

## 2023年度学長裁量経費（教育改革推進）一覧

丸 山 和 範    MARUYAMA Kazunori    教授

共同研究者	塩谷 哲 SHIONOYA Satoru 准教授
研究課題	新作ジャズミュージカル『アーサー・マッカーサーの青春（仮）』ピアノボーカ ルスコア（音源付き）の出版
趣旨・目的	本学ミュージカル・コースで拙作『いのちの森』の上演後、本学実用音楽コ ースでオリジナルミュージカルの制作研究を模索する中で、敗戦後78年を迎える 今日に、マッカーサーの息子アーサーがジャズピアニストであることに注目し た脚本家（畠山貴憲氏）と共に、上演可能でしかも今日的意義のある新作ミュ ージカルを作成し、教材化（脚本とCD）を目的とする。
公表方法	新作ミュージカル『アーサー』ピアノボーカルスコア出版原稿（歌唱CDと第 一校台本）の提出
出版日	2025年（未定）
出版社	ハッスルコピー（株）予定
備考	2024年2月29日（木）於 国立音楽大学6-110 トライアウト公演予定

濱 野 峻 行    HAMANO Takayuki    准教授

共同研究者	今井 慎太郎 IMAI Shintaro 准教授 片桐 健順 KATAGIRI Takenori 准教授
研究課題	新時代のソルフェージュ～オンライン聴能形成プログラムの試験的導入～
趣旨・目的	一般に音楽大学では楽譜の読み書きを中心とするソルフェージュ教育が行われ るが、実際の音楽で起こる多様な音響現象（音の高低や音色の違いなど）を聞 き分けて具体的なことばで説明できる能力を獲得できればより望ましい。本研 究では新しい音楽教育の実践として、イヤートレーニングの一種である「聴能 形成」をオンラインで受講できる教育プログラム「真耳 Online」を他大学に先 駆けて試験的に導入・実施し、その教育効果を観察した。
公表方法	研究論文
掲載誌	国立音楽大学『研究紀要』第59集
出版日	2025年3月（予定）

### 三 浦 雅 展 MIURA Masanobu 准教授

研究課題 趣旨・目的	呼気センサーを用いた呼気の記録に基づく演奏動作の視覚化に関する研究 音大生の学習ポートフォリオを目指して、声楽歌唱時の音響波形と生体信号を併せて表示することで、学習達成度の可視化手法を検証する。用いるのは身体を包囲するように設置するDC型可変抵抗型センサーであり、呼気を間接的に記録できる。このセンサーは容易に装着でき、また演奏に邪魔にならないという長所を持つ。このセンサーを用いて歌唱時の腹部および胸部の動きを表示することで、奏者の演奏時の息遣いを可視化した。
公表方法 日程・会場 出版社	日本音響学会音楽音響研究会2024年1月研究会にて発表。 2024年1月20日（土）京都市立芸術大学 日本音響学会音楽音響研究委員会『歌唱時の腹筋測定に基づく呼気量と演奏表現の関係』

### 中 西 千 春 NAKANISHI Chiharu 教授

共同研究者	山村 薫 YAMAMURA Kaoru 非常勤講師
研究課題	国際人として必要な能力育成のための国際性向上ワークショップと国際アワーの実施
趣旨・目的	本研究の目的は、国立音大生が幅広い視野を持って異文化の人と交流を深め、良好な関係を築くことができる人材へと成長させることであった。そのために、 ①国立音大生の実状に合わせた国際性向上ワークショップを開発・実施した。 ②本学の留学生を中心として、身近な外国人と外国語を話し、国際姿勢を養う「国際アワー」を実施した。
論文	Nakanishi, C., Yamamura, K., & Thukral, L. (2023). Enhancing International Mindset in English Classes at a Japanese Music College: Impact of Integrating Documentary Photography and Piano Performance. <i>Advances in Social Sciences Research Journal</i> , 10(12). pp. 39-50. Nakanishi, C. & Kawai, K. (2024). The Effects of Workshops on International Orientation and Self-Other Understanding: Attempts at CEFR A2 level classes in a Japanese Music College, <i>Asian Journal of Humanities and Social Studies</i> , Vol.12 (1). pp. 1-10
著書	中西 千春編著(2024).『音大生の国際的視野を広げる－国際性向上ワークショップの効果－』飛鳥井出版